

## 関係節と分詞の形容詞的用法

関係節の典型的な例は(1)です。

(1) I read the book {that/which} the teacher recommended.

この文は、2つの文(I read the book. The teacher recommended the book.)が、関係代名詞(whichやthat)を介して、ひとつの文(つまり、複文)になっています。この基本は把握しているかもしれませんが、導入時期が、中学校英語の最後だったこと、会話では単文や単語だけで「通じる」ことが多いので、関係節(従属節)を使わなくても済むことなどから、十分に定着できていない学生も多いです。特に、**関係節(その短縮形の形容詞的分詞、関係副詞も含む)の特徴、他の従属節との違いなどの理解が不十分なために、読み物全体が理解できない、誤解する、といったことが多々あります。**

「なんとなく分かっている」だけでは「外大生」に求められる「正確な英語の理解」には不十分です。今回の「文法カフェ」で、しっかり「復習」し、自信につなげて下さい。

まず、以下の文は全て複文ですが、**関係節が含まれているのは、どれか?** 考えてみて下さい。

- a. They told me that they can speak French.
- b. The news that the national team won the tournament made us delighted.
- c. The news that made us delighted was first released in the Internet.
- d. They asked the teacher what they should study for the exam.
- e. I will buy what you will tell me to buy.
- f. She lives in the city where her father lived when he was a student.
- g. We are looking for the day when we can travel to the moon.
- h. Whatever you say, I will believe you.
- i. I am glad that the exam I took this morning was not very difficult.
- j. The plane took off so smoothly that I did not notice that it took off.

答えは、(c), (e), (f), (g), (i)です。どの部分が関係節か分かりますか?

正解だった人も、そうでなかった人も、どうして、そう判断したのか、説明できますか?

どうして、他の従属節、他のthatやwh-語が関係節(関係代名詞)ではないのか、説明できますか?  
他の文、(a), (b), (d), (h), (j)、の節がどういうタイプの従属節なのか、説明できますか? つまり、

- (a) 複文を作る時に用いる **that** の働き、関係節以外のものも含めて理解していますか?
- (b) どうして、**that** にはイロイロな用法があるのか考えてみたことありますか?
- (c) イロイロな **that** の見分け方はわかっていますか?
- (d) **wh** 語は 関係節以外にも使われます? 例えば、疑問文です。 **どれが関係代名詞で、どれが疑問詞なのか、分かりますか?** その判断の基準はなんですか?
- (e) どうしてそもそも **wh-語** が、**関係節にも疑問文にも使われるのか**、考えたことありますか? それらの**共通点**って何でしょう?

まず、これらから、考えてみましょう。これらが分かると、英語という言語全体が見えてきますよ。その後、**形容詞的な分詞(関係節の短縮形)**について考えます。